

防災対策の充実を求める請願書

提出 令和5年8月21日

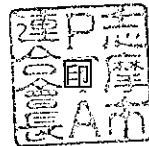
志摩市議会議長 金子 研世 様

紹介議員 小河 光昭

請願者

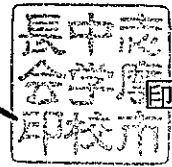
〒517-0603
志摩市大王町波切877-3
大王小学校 PTA
志摩市PTA連合会 会長

朝日秀道



〒517-0505
志摩市阿児町甲賀2088-1
東海中学校 校長
志摩市中学校長会 会長

孝有 一夫



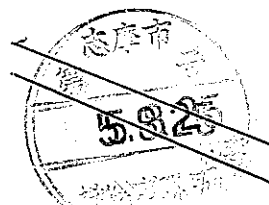
〒517-0505
志摩市阿児町甲賀1518
東海小学校 校長
志摩市小学校長会 会長

上村 寛



〒517-0501
志摩市阿児町鵜方3179
三重県教職員組合志摩支部
支部長

出口 晴之



請願の趣旨

子どもたちの安全・安心を確保するため、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をはかるよう市議会において本請願を採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

志摩市においては、発生が危惧されている南海トラフ地震による甚大な被害が想定された地域で、志摩市が作成した津波ハザードマップ（令和3年3月更新）によると、避難行動が困難となる「津波浸水30cm」到達時間は、最短8分（大王町名田）、居住地域における地区の最大津波高26m（志摩町越賀）という津波の襲来が予想されています。

2023年7月現在、志摩市では津波避難所として13校中10校（小学校6校：うち1校は福祉避難所、中学校4校）が指定され、風水害避難所としては13校すべてが指定避難所となっています。避難所における防災関係施設・整備などについては、年々対策をすすめていただいておりますが、自家発電設備や屋内運動場の多目的トイレの設置などまだまだ不十分なものもあり、今後も継続した対応が求められます。また、13校中3校（志摩小学校、志摩中学校、浜島中学校）が津波浸水想定区域内に立地している現状があります。2015年に津波対策のための不適格改築事業の拡充がおこなわれましたが、補助要件である「津波防災地域づくりに関する法律」に基づく「津波防災推進計画」の策定は全国的にもすすんでおらず、支援制度の活用が難しい状況です。津波浸水想定区域内にある学校において高台移転や高層化等を計画した際に補助要件を緩和したり、用地取得費や土地の造成費を補助対象に含めるといった補助対象を拡大したりする等、支援制度の更なる拡充を強く望みます。

また、災害や新たな感染症は、いつ発生するかわかりません。感染症対策に配慮した避難所開設・運営をおこなうにあたり、施設やスペース、資材、人材を十分に確保することが必要です。また、災害発生時における多様な性やプライバシーに関する課題、外国人、介助・介護が必要な高齢者、障がい者、女性、乳幼児等への配慮等、改善すべき課題は山積しています。過去の災害に学び、最善の備えを整えていくという考えのもと、国の責任において、安心して被災者が避難できるよう、防災に関わる施策がさらに充実されることを強く望むところです。

以上のような理由から、巨大地震等の災害を想定した防災対策の充実をすすめることを強く切望するものです。